

第13回 近畿の環境団体情報交流会 × 第14回 里山フォーラム

持続可能な社会・なりわい・暮らし

# ささやまミーティング

2018年 2月23日(金) ~ 24日(土)

【開会】23日 12:30 【閉会】24日 16:30

●会場：ユニトピアささやま（兵庫県篠山市） <http://unitopia-sasayama.pgu.or.jp/>



主催：特定非営利活動法人 近畿環境市民活動相互支援センター  
一般財団法人 セブン-イレブン記念財団

共催：公益社団法人 大阪自然環境保全協会

後援：大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県

協力：パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニトピアささやま

第13回 近畿の環境団体情報交流会は、  
一般財団法人 セブン-イレブン記念財団の助成により開催いたしました。



一般財団法人  
セブン-イレブン記念財団

# 目 次

目 次.....	1
開 催 概 要.....	2
プ ロ グ ラ ム.....	3
ささやまミーティングの様子.....	7
1 日 目  実施プログラムの様子.....	7
2 日 目  実施プログラムの様子.....	14
活動の効果と課題.....	17
参加者基礎情報・アンケート集計結果.....	20

## 趣 旨

それぞれが精一杯の活動を行う中で、課題や限界も現れています。そうした中、残念なことと同じ分野の集いは多いけれど、異なる分野や立場の人たちが集い語る場は、なかなかありません。

このミーティングでは、様々な団体、個人が分野、立場を越えて集い、自らの啓発と活動の発展のために、自らの活動を「持続可能な社会・なりわい・暮らし」という視点で問い直し、活動を紹介し合い、語り合い、学び合います。これからの社会を創る！そんな思いを胸にミーティングに集い、ネットワークを広げ、パワーアップを目指します。

今回は近畿の環境団体情報交流会と里山フォーラムが合流し、近畿最大規模の参加型ミーティングとなります。それぞれの良いところを引き継ぎ、一層の充実を図ります。会場は里山フォーラムで高いホスピタリティが好評のパナソニック ユニトピア ささやまです。新たな展開をいたします。

## 目 的

- 1、近畿の環境、里山関連の団体、個人が出会い、学び合う場、連携のきっかけを提供する。
- 2、団体の組織運営力の強化、個人のスキルアップを目指す。

## 内 容

- 1日目 テーマ関連活動発表（5枠）  
全員参加パネルディスカッション「持続可能な社会・なりわい・暮らし」  
活動発表（17枠）、交流会
- 2日目 分科会（8分科会）、ポスターセッション（14枠）  
全員参加ディスカッション、ふりかえり

## 開催概要

- 日 時：2018年2月23日（金）～24（土）
- 場 所：パナソニック ユニトピア ささやま（兵庫県篠山市）
- 対 象：農、林、自然、環境、教育、地域づくり、福祉等の市民活動の実践者・運営者、企業、行政等の担当者、大学等の研究者、学生
- 参加費：一般12,000円、会員11,000円、学生8,000円
- 募 集：100名（一般50名、会員30名、学生20名）
- 主 催：特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター  
一般財団法人セブン-イレブン記念財団
- 共 催：公益社団法人大阪自然環境保全協会
- 協 力：パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村 ユニトピア ささやま
- 後 援（申請予定）：大阪府、京都府、滋賀県、奈良県、兵庫県、和歌山県

# プログラム (1日目/2月23日)

時間	プログラム	場所
11:30	受付開始	レイクプラザ1階
12:30	開会オープニング(30分) オープニング演奏 ♪山口進さん(パナソニックエコリレージャパン) ごあいさつ 平田通文さん(エコネット近畿 理事長) 吉田英世さん(ユニトピアささやま 支配人) ねらいの説明 新田章伸さん(実行委員長) スケジュール紹介、生活上のご案内	レイクホール
13:00	参加者交流 (60分)	
14:00	休憩 (20分)	
14:20	テーマ関連活動紹介(80分) 活動紹介① 「Panasonic ECO RELAY for Sustainable Earth」 山口進さん(パナソニックエコリレージャパン) 「持続可能な市民団体になりたい」 田中広樹さん(大阪自然環境保全協会) 「公害の経験から未来に向けて学ぶ市民力」 栗本知子さん(あおぞら財団) 感想のわかちあい 活動紹介② 「民主的に生きる 市民が育つ学校」 藤田美保さん(箕面こどもの森学園) 「林業会社が温泉経営に挑戦する理由」 谷茂則さん(谷林業) 感想のわかちあい	
15:40	休憩 (20分)	
16:00	全員参加/パネルディスカッション (60分) <パネリスト> 山口進さん、田中広樹さん、栗本知子さん、藤田美保さん、 谷茂則さん	
17:00	分科会説明、決定(10分) 早朝オプション募集	
17:20	チェックイン (40分)	3,4,5階 各部屋
18:00	夕食 (60分)	1階レストラン
19:00	活動発表①② (90分)	フォレストプラザ
20:30	入浴 (60分)	3階研修室
21:30	交流会 (135分)	レイクプラザ <sup>3</sup> 2階

# プログラム (2日目/2月24日)

時間	プログラム	場所
6:00	朝風呂	大浴場
6:30	早朝オプション 希望者のみ (60分) A. 里山再生エリア見学 パナソニックエコリレージャパン 山口進さんがご案内 B. 冬の里山の野鳥観察 大阪自然環境保全協会 後藤裕己さんがご案内 C. 木質ペレット工場見学 (6:00出発) バイオマス丹波篠山 藤井聡博さんがご案内	レイクプラザ1階 ロビー集合
7:30	朝食 (60分)	レストラン
8:30	チェックアウト 荷物移動	各部屋
9:30	分科会 (180分) さまざまな視点に分かれ、分科会として内容を深めます。 第1分科会「SDGsと私たちの暮らしを考える」 第2分科会「里山と事業となりわい」 第3分科会「地域を活かす私たちの暮らし」 第4分科会「ていねいに暮らす」 第5分科会「多様なヒトの参加とつながりの生み出し方」 第6分科会「ボランティアと仕事」 第7分科会「木育・森育っていいぞ!」 第8分科会「海から離れた地域での海の教育を考える」	フォレストプラザ 1、2、3階 もしくは 1階 ロビー集合
12:00	昼食 (60分)	レストラン
13:00	分科会報告 (20分)	レイクホール
13:20	ポスターセッション (60分) 14のポスター発表を自由にご覧いただけます。	
14:20	全員参加ディスカッション (60分) 「持続可能な、なりわい、暮らし」について考えます。	
15:20	ふりかえり (40分) 二日間を整理し、自分の現場、今後に活かせるようにします。 ふりかえり わかちあい	
16:00	アンケート (10分)	
16:10	閉会クロージング (20分) ごあいさつと紹介 松井敬司さん(一般財団法人セブン-イレブン記念財団事務局次長)	
16:30	解散	

## 活動発表 時間割表

(23日 19:00～20:30)

- ・活動発表①②の途中での会場移動はご遠慮ください。3枠まとめて質疑応答の時間を取ります。休憩時間での移動をお願いします。
- ・時間・内容は、状況・都合により変更になる場合があります。
- ・\*お名前は敬称を略しております。

19:00～19:40 活動発表 ① (10分×3枠) (フォレストプラザ 3F)			
	(3311研修室)	(3312研修室)	(3313研修室)
1 19:00～19:10	大阪市で初めての市民共同発電所を 作って8年経ちました♪  山本 容子 ECOまちネットワーク・よどがわ	生物多様性と自然保護活動  稲垣 文拓 乙訓の自然を守る会	山守になる ～持続する地域社会の輪を作る～  山下 淳司 株式会社ワールドウインド
2 19:10～19:20	雨水利用で新しい都市災害を防ごう 一家に一台雨水タンクを  米道 綱夫 NPO法人エコネット近畿	自然観察インストラクター養成講座  後藤 裕己 公益社団法人大阪自然環境保全協会	里山林業 ～暮らしを紡ぐデザインと可能性～  西川 阿樹 NPO法人里山倶楽部
3 19:20～19:30		カレーを本当に作るプロジェクト  水元 勇 公益社団法人大阪自然環境保全協会	自然体 ～日本的自然観の暮らし方・生き方～  新田 章伸 NPO法人里山倶楽部
19:30～19:40	質疑応答 (10分)	質疑応答 (10分)	質疑応答 (10分)
19:40～19:50 休憩・移動 (10分)			
19:50～20:30 活動発表 ② (10分×3枠) (フォレストプラザ 3F)			
	(3311研修室)	(3312研修室)	(3313研修室)
1 19:50～20:00	minakotoなら ～持続可能な暮らしの為に地域の居場所～  なかたに みさこ ひとまち元気カンパニー	アゲハチョウの生態を題材とした 創作アニメの上映とその活用法  橋本 敏明 自然体験活動支援「シニア種まき隊」	里山サバイバルクラブとわたしたち  鈴木 幸子、田口 裕 里山サバイバルクラブ
2 20:00～20:10	立志教育で人生を変える  松村 悠豊 一般社団法人松南志塾	オオムラサキが舞う 丹波地域の里山づくり  角谷 慶治 兵庫丹波オオムラサキの会	里山で映画づくり  平櫛 武 キタイ設計株式会社
3 20:10～20:20	環境NPOの資金調達 ～環境市民活動助成金セミナーより～  辻 郁子 NPO法人エコネット近畿	ジュゴンで知ってる？ ～絶滅危惧種と基地～  正阿彌 崇子 ジュゴン保護キャンペーンセンター	美しい里山・棚田を未来につなぐために 11年の活動からの気付き  永菅 裕一 NPO法人棚田LOVER's
20:20～20:30	質疑応答 (10分)	質疑応答 (10分)	質疑応答 (10分)

この間は、移動しないでください

この間は、移動しないでください

### ポストイトの使い方 (ボックスファイル同封)

- ・発表者へ、ご意見ご感想をお伝えいただくツールとしてお使いください。使用は任意です。
- 休憩や交流会等の時間に直接、発表者に手渡しください。
- ポストイトには、どの発表の誰への誰のご意見ご感想かわかるよう、下記を必ず記入ください。
- どの発表か：活動発表①②(2日目19:00～)、ポスターセッション(1日目13:20～)
- 誰への：発表者名
- 誰の：記入者名
- ・ポストイトが少なくなりましたら、レイクホール受付、活動発表担当実行委員に申し出て、補充ください。

持続可能な社会・なりわい・暮らし  
 ささやまミーティング  
 ポスターセッション一覧  
 (24日 13:20~14:20) 60分/14枠

	タイトル	発表者名	団体名
1	電気(Electricity)をテーマにした英語教材の紹介	宮本 由貴、 別府 邦子、 山中 のり子	E-EGG
2	気を使うことから始まる“顔の見える環境社会”の創造	前川 公夫	NPO法人 バイオマス丹波篠山
3	里山サバイバルクラブとわたしたち	鈴木 幸子、 田口 裕	里山サバイバルクラブ
4	真庭なりわい塾～稼ぐための職業から 生きるための生業へ～	篠原 洋	真庭市役所 交流定住推進課
5	How we can sustain the earth together for the next generation.	バハラム イツル	NPO法人 Peace & Nature
6	「いきものあふれるゆめのもり」 生物多様性保全プロジェクト	余部 衛	やしらの森公園
7	ジュゴンの海は生き物の宝庫	正阿彌 崇子	ジュゴン保護 キャンペーンセンター
8	京丹後市三重・森本地区での生物多様性を活 かした地域活性化	西田 駿吾	龍谷大学政策学部
9	多様な人が集い、自然・文化を体験 する、綾部の小さなアースデイ	大久 浩二	小さなアースデイ 実行委員会
10	チョウとのふれあい体験などで 「生命があること」を感じる企画	橋本 敏明	自然体験活動支援 「シニア種まき隊」
11	野生動物とのかかわり方を考える ～～これまでとこれから～～	西村 知記	かもしかの会関西
12	里山日和♪～里山倶楽部と今昔物語、 そして未来～	西川 阿樹	NPO法人里山倶楽部
13	持続可能な社会・地域をつくる 近畿の環境NPOサポート	辻 郁子	NPO法人 エコネット近畿
14	ネイチャーおおさか 大阪湾での 観察会活動	田中 広樹	公益社団法人 大阪自然環境保全協会

# 1 日目

## オープニング、参加者交流

### ●オープニング、参加者交流



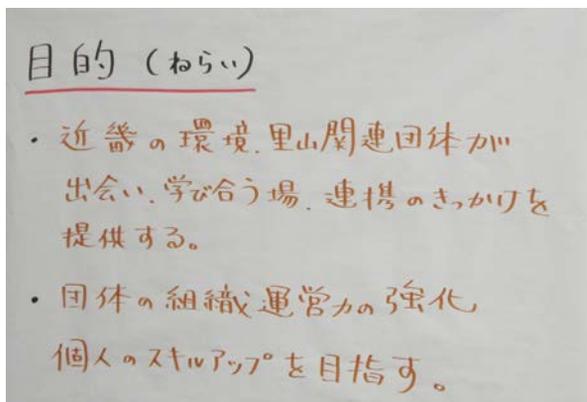
オープニング演奏  
ささやまミーティング  
実行委員 山口 進さん



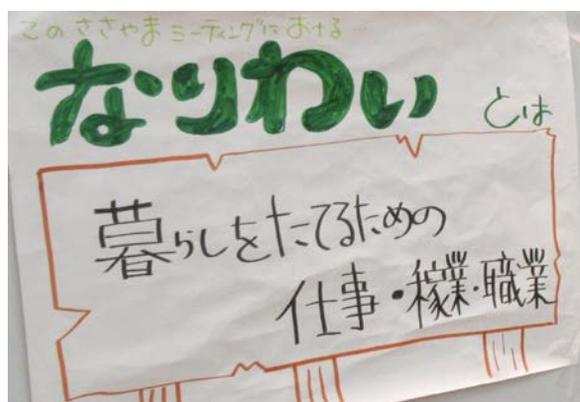
ごあいさつ  
NPO法人 エコネット近畿  
理事長 平田 通文さん



ごあいさつ  
ユニトピアささやま  
支配人 吉田 英世さん



ささやまミーティング 目的



テーマ「なりわい」の定義



ねらいの説明  
ささやまミーティング  
実行委員長 新田 章伸さん

新たな出会いや学びを期待して近畿一円から集った参加者の緊張をほぐすように、ギターの色と歌声ではじまった「ささやまミーティング」。

主催団体であるNPO法人エコネット近畿理事長 平田通文さん、開催場所のご提供をいただいたユニトピアささやま支配人 吉田英世さんから開催挨拶をいただきました。

つづいて、新田実行委員長より、参加者全員にむけて、近畿という大きな枠組みでの意見交流の場が、次々に失われていくなか、分野や世代、立場を超えて出会い、学び合い、連携するきっかけとなること、また「これからの社会を創る」という想いを1つに、それぞれが楽しくパワーアップを目指すこと、と開催目的が共有されました。

また、2日間を通して全員でとりくむテーマ「持続可能な社会・なりわい・暮らし」の「なりわい」については、「暮らしをたてるための仕事・稼業・職業」との定義が示されました。

# 1 日目

## 参加者交流

### ●参加者交流



参加者交流  
ささやまミーティング  
実行委員 余部 衛さん



参加者 意見交換



多様な分野からの参加者

参加者交流（アイスブレイク）では、ワークショップ「四つの窓」、「国勢調査」を行いました。

10～70代までの各世代の、近畿圏内外のNPO、任意団体、企業ほか、今回は特に学校関係者や環境教育分野で活動する方や関心のある方が多くおられました。

いくつかの質問のあと、近い地域からの参加者で集まって、簡単な自己紹介や日ごろの活動、参加の目的や期待することを発表しました。初対面でありながら、近隣で活動する方との出会いに、緊張感も少しほぐれた様子です。

ささやまミーティングでは、2日間を通し、全員参加型ですべてのプログラムを進めました。



参加者のようす

# 1 日目

## テーマ関連活動紹介

### ●テーマ関連活動紹介

「持続可能な社会・なりわい・暮らし」に関するお話をさせていただきました。



テーマ関連活動紹介 進行  
ささやまミーティング  
実行委員 正阿彌 崇子さん

<登壇者>

山口 進さん (パナソニックエコリレージャパン)  
田中 広樹さん (大阪自然環境保全協会)  
栗本 知子さん (あおぞら財団)  
藤田 美保さん (箕面こどもの森自由学園)  
谷 茂則さん (谷林業)

(発表順)

### Panasonic ECO RELAY for Sustainable Earth



パナソニック・エコリレージャパン  
山口 進さん

Panasonic ECO RELAY JAPAN (エコリレー ジャパン) では、地域社会と共に「森林」「緑地」「水」を中心とした生物多様性保全、里山保全活動、自然教育活動など、温暖化防止やライフスタイルを見直す意識啓発など、「持続可能な社会」への貢献を目指している。

具体的には、森林保全や育林体験、緑地・公園や河川敷のクリーンアップ、外来種水生植物などの駆除作業、自然観察会、水質調査、ピオトープづくりなど、多様な主体との連携で実施し、年間延べ数万名が活動に参加している。

会場となる「ユニトピアささやまでの里山再生活動」は、2017年国連生物多様性の10年日本委員会の推奨する連携事業に認定された。

### 「持続可能な市民団体になりたい」



大阪自然環境保全協会  
田中 広樹さん

設立から42年、会員数800人、「里山」という言葉を最初に使い始め、自然保護や自然保護教育(環境教育)を主とする団体は、職員1名を除き、ボランティアで運営している。多くの団体と同じく、高齢化や会員減を前にして、持続可能な市民団体への再生をかけて、会員が自ら「ビジョン」を考えつくる「ビジョンづくりフォーラム」を開催し、協会が目ざす社会的使命や将来像を出し合い、総会にむけてとりまとめるほか、新たに8つのプロジェクトを発足した。

現在は、次の世代のためにいかに伝統に縛られず、やりたい活動=やるべき活動にできるか、活動グループの新陳代謝を進めるか、そして、誰も無理せず、しかし常に人が足りない状態を保ちボランティアですすめるか、まさにこれらの課題と向き合っている。

# 1 日目

## テーマ関連活動紹介

### ●テーマ関連活動紹介

#### 「公害の経験から未来に向けて学ぶ市民力」



あおぞら財団  
栗本 知子さん

なぜ、いま「持続可能」なのか？

「持続可能な開発」という概念が生まれた背景には、1960年代、欧米諸国や日本で公害問題が深刻になったという歴史がある。

1967年「公害対策基本法」の成立時、「経済の健全な発展との調和を図りつつ」という表現を含む「調和条項」によって、結局「人間の生活環境より経済発展」となり、対策が進まなかった。

1970年に「調和条項」は削除され公害環境行政は進んだが、オイルショック後、また経済優先となった。

地球環境には限界があるから、その枠内で社会の発展を考える必要がある。環境を守ろうとした市民の行動から学び、持続可能な社会づくりを考える教育活動を続けていきたい。

#### 「民主的に生きる 市民が育つ学校」



箕面こどもの森学園  
藤田 美保さん

箕面こどもの森学園は「産業社会に適應できるための人間を育成する教育」ではなく、「人間の自然な成長を支援するための教育」を！とオルタナティブスクールとして開校。

UNESCOのユネスコスクールや文部科学省ESD重点校に選ばれている。

ミッションは「子どもの教育を中心に、子育て・環境保全・まちづくりなどを支援する」、「違いを認め合い、人も自分も尊重しつつ、対話し、学び続けていく持続可能な社会の実現」である。

このミッションを達成するため、子育てカフェ、ロハスフェスタ、教育カフェマラソン…など多数の事業を親と市民がともに取り組み実施している。今持続可能なまちづくりのネットワークが箕面こどもの森学園を中心に広がっている。

#### 「林業会社が 温泉経営に挑戦する理由」



谷林業株式会社  
谷 茂則さん

昭和50年代までは、花盛り産業であった吉野林業。

平成になり、災害に見舞われ、事業の立て直し、承継問題に向き合うが、補助金頼みの間伐林業+作業道開設に取り組むも業況は好転しない。

折しも、吉野林業が「常に時代にコミットし、物流ラインを創り、建築様式を支え、商流のイニシアチブをとり、自在に新たな仕組みを創り上げてきた」歴史の原点に出会い、「今」にコミットした吉野林業（都市林業）を創るチャレンジがはじまった。「今の社会課題＝エネルギー」の解決のための地域連携による温浴事業「山と温泉」を、全国の林業地や山間過疎地モデルとして発信し林業を変革する挑戦である。

その先には、「ノーベル平和賞」の受賞というさらなる未来が見えている。いつの日か本当になるかもしれない。

# 1 日目

## 全員参加パネルディスカッション

### ●全員参加パネルディスカッション

様々な分野の立場から、「持続可能な社会」について全員参加で考えました。



＜パネリスト＞  
山口 進さん、田中 広樹さん、  
栗本 知子さん、藤田 美保さん、  
谷 茂則さん

＜コーディネーター＞  
新田 章伸さん

写真下) 参加者同士の意見交換



# 1 日目

## 活動発表・交流会

### ●活動発表 (公募・17枠)

3部屋同時に進行、1部屋につき6つの活動発表をお聞きいただきました。

3312  
研修室



生物多様性と自然保護活動  
稲垣 文拓  
乙訓の自然を守る会



自然観察  
インストラクター養成講座  
後藤 裕己  
大阪自然環境保全協会



カレーを本当につくる  
プロジェクト  
水元 勇  
大阪自然環境保全協会



アゲハチョウの生態を  
題材とした新作アニメの  
上映とその活用  
橋本 敏明  
シニア種まき隊



オオムラサキが舞う  
丹波地域の里山づくり  
角谷 慶治  
兵庫丹波オオムラサキの会



ジュゴンで知ってる？  
～絶滅危惧種と基地～  
正阿彌 崇子  
ジュゴン保護キャンペーンセンター

3311  
研修室



大阪で初めて市民協働発電所  
を作って8年経ちました  
山本 容子  
ECOまちネットワーク・よどがわ



雨水利用で新しい都市災害を  
防ごう！一家に一台雨水タンク  
米道 綱夫  
NPO法人エコネット近畿



minakotoなら  
持続可能な暮らしのための  
地域の居場所  
なかたに みさこ  
ひとまち元気カンパニー



立志教育で人生を変える  
松村 悠豊  
一般社団法人松南志塾



環境NPOの資金調達  
環境市民活動助成金セミナー  
辻 郁子  
NPO法人エコネット近畿

# 1 日目

## 活動発表・交流会

### ●活動発表 (公募・17枠)

3313  
研修室



山守になる  
持続する地域社会の輪を作る  
山下 淳司  
株式会社ワイルドウィンド



里山林業  
暮らしを紡ぐデザインと可能性  
西川 阿樹  
NPO法人里山倶楽部



自然体  
~日本の自然観の暮らし方・生き方  
新田 章伸  
NPO法人里山倶楽部



里山サバイバルクラブとわたしたち  
鈴木 幸子、田口 裕  
里山サバイバルクラブ



里山で映画づくり  
平櫛 武  
キタイ設計株式会社



美しい里山・棚田を未来に  
つなぐために  
永菅 裕一  
NPO法人 棚田Lovers



発表に聞き入る参加者

3311研修室では「気候変動やエネルギー」、  
「持続可能な暮らしや生き方」、3312研修室では「自然環境保全、自然保護、自然環境教育」、  
3313研修室では、「里地・里山、林業、農業」  
を主たるテーマとする全17枠の発表がありました。

発表時間は、1枠10分、3枠毎に質疑応答のための10分を設けてすすめて、途中の休憩時間で部屋を移動し、前半と後半で2つの異なるテーマを選択することも可能としました。

### ●交流会



差し入れの紹介



唄を歌えば心は1つ



長い一日です

全員参加パネルディスカッション、活動発表、今日一日たくさんの人と出会い、学び、言葉を  
交わしました。交流会は、その出会いをさらに深める時間です。

# 2日目

## 分科会（第1分科会～第4分科会）

### ●分科会（8テーマ）

第1分科会「SDGsと私たちの暮らしを考える」

栗本知子さん、正阿彌崇子さん



国際的な目標として設定されたSDGsについての基本的な知識を得ました。また、私たちの暮らし・活動とSDGsのつながりを考え、目標達成に向けて新たにできることを考えました。

第2分科会「里山と事業となりわい～やりたいことを仕事で続けるには～」

平櫛 武さん



里山と事業と生業に関する問題点を抽出し、課題を明らかにして、対応方法をアイデア会議しました。また活動に取り組む関係者との交流を図りました。

第3分科会「地域を活かすわたしたちの暮らし」

久 隆浩さん、谷 茂則さん



環境に限らず、地域にこだわり地域でつながる方法について、暮らしの視点から見つめました。分野をこえ、地域で活動する若い世代が集いました。

第4分科会「ていねいに暮らす」～生き方・暮らし方～

余部 衛さん、西川阿樹さん



多様な価値観に触れることで、暮らしの中で感じる豊かさについて考える、ていねいな暮らしの実践につながる気持ちを後押しする機会になるよう進めました。それぞれの興味について、少人数で意見交換し、話を深めました。参加者は、手作りの「はたき」を持ち帰りました。

# 2日目

## 分科会（第5分科会～第8分科会）

第5分科会 「組織ばなれ時代の多様なヒトの参加とつながりの生み出し方」  
なたかにみさこさん、辻郁子さん



それぞれの組織のミッションを追究するために、どのゆに人を巻き込みマネジメントしていくのか？今までのマネジメントのフレームを超え変えていくためのワークに取り組みました。

第6分科会「ボランティアと仕事～ボランティアとの上手なつきあい方～」  
西村牧子さん、山口進さん



事例を共有し、ボランティア（社会貢献活動）と仕事や学業、家庭などとのバランスについて考察しました。また実際に仕事をしながら里山再生活動に取り組む関係者と交流しました。

第7分科会「木育・森育っていいぞ！～木育の今とこれからを一緒に考える～」  
新田章伸さん、宮本直樹さん



「木育」について理解を深め、意見交換をしました。また、実際に「削り馬」を使って木を削る体験をしました。

第8分科会「海から離れた地域での海の教育を考える」  
田中広樹さん、伊藤かれんさん



海での体験や海への意識を振り返ったり掘り起こすことを通して、海から遠い子ども達への海の教育を考え、チリモンさがし体験をしたあとで、室内での海育プログラムを企画しました。

# 2日目

## ポスターセッション 全員ディスカッション・ふりかえり

### ●ポスターセッションの様子 (14枠)



関心の高いポスターの前には、多くの参加者が集まって、熱心に質問をしておられました。

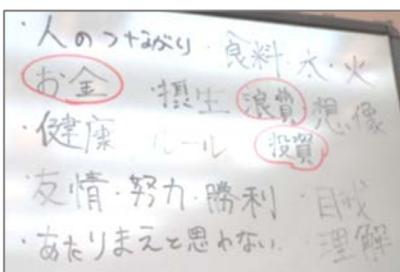


疑問に思ったことを、すぐに直接質問し答えが得られる点が好評でした。

### ●全体ディスカッション

問1 持続可能な社会と暮らしにとって必要だと思う3つのコト

問2 『持続可能な社会のなりわい』と聞いて思うこと



<抽出キーワード>

- ・人のつながり
- ・食料/水/火
- ・おカネ 摂生 浪費 想像
- ・健康 ルール 投資
- ・友情/努力/勝利
- ・あたりまえと思わない
- ・自戒 理解

進行 ささやまミーティング 実行委員 なかたに みさこさん

### ●ふりかえり

2日間の経過をゆったりと振り返り、「自分ごと」として近い将来に実現したい「持続可能な社会・なりわい・暮らし」を整理する時間をもちました。

今考える、近い将来あなたが実現したい持続可能な「社会」とは??

今考える、近い将来あなたが実現したい持続可能な「なりわい」とは??

今考える、近い将来あなたが実現したい持続可能な「暮らし」とは??

これから私がやること・できること

進行 ささやまミーティング 実行委員 平櫛 武さん

# 活動成果と課題

## ●6つの目標と評価指標・達成度

- ①参加者目標数の達成 目標数 100人 → 達成 100人
- ②参加団体数 目標数 75団体 → 実績 72団体
- ③新規会員獲得数の達成 目標数 15団体・人 → 5団体・人
- ④参加者満足度の測定 アンケートでの10点満点評価 → 12%up (63%から75%へ)
- ⑤参加団体・個人の連携 ヒアリング、次年度のアンケートにより集計
- ⑥組織運営力・個人のスキルアップ アンケートでの満足度評価 → 大変満足・満足 57%

## ●申請事業の告知方法と回数

- ・環境イベントサイトへの記事掲載：20サイト以上
- ・実行委員によるチラシの手渡し：
  - 兵庫の環境担い手サミット、森林ESD発表会・報告会、企業と環境NPOの協働セミナー
  - ハッピーアースディ八尾 ミーティング
- ・DMによるチラシの配布：1700件（実行委員所属団体の協力を含む）
- ・メールニュースの配信：
  - エコネット近畿 メールニュース vol.186～vol.190（12月25日～2月17日）5回
  - セブン-イレブン記念財団 環境情報 1回（2月1日）
  - あおぞら財団、環境市民、ひょうごエコプラザ、京都環境ミーティング、きんき環境館
  - Canpan などのメールニュース
- ・フェイスブックへの投稿：イベントページへの投稿 14回（1.4万リーチ、閲覧者1,049）
- ・ホームページへの情報掲載：2016年12月より年間スケジュールとして掲載開始。

## ●ホームページのトップページ／申請事業 プレビュー

(参考)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
TOPページ	316	259	259	196	322	236	288	1,876
助成金 セミナー	13	45	48	30	246	172	189	743

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
TOPページ	288	225	284	269	306	31	1403
情報交流会	60	29	192	317	396	22	1016

- ・セブン-イレブン記念財団 助成金セミナーページからのアクセス数 6（2017/11～翌3月）
- ・セブン-イレブン記念財団 環境情報メールが配信された日は、トップページアクセスが増加。
- ・12月までは、会員・過去参加者のみに限定広報。12月8日～9日にかけて、第1弾DMを発送。（700通）後、12月10日にHPで情報公開。12月25日になってフェイスブックの公開、メールニュース配信を行い、一般向け広報を解禁した。

# 活動成果と課題

## ●背景

最近の3年間における「情報交流会」の参加者目標数未達の原因やアンケート集計から見えてきた課題について、次のように整理しました。

- 1、「情報交流会」の例年の開催時期である6月は、総会や年度初め事業の開催、助成金申請のピーク等多くのNPOや企業にとっての繁忙期である。
- 2、環境分野のみならず、まちづくり、福祉など、周辺分野からの参加が必要である。

一方で、参加者は、何をメリットに感じておられるかについても整理しました。

- 1、日ごろの活動では出会うことのない、分野、世代の参加者と意見交換ができる。
- 2、時間に縛られることなく、実際の活動者から本音の話が聞ける。
- 3、近畿で団体が一同に集う交流会が減少傾向にある。

## ●事業成果

### >>> 開催時期の変更 新規共催・協力団体との連携体制

昨年までの3年間、宿泊参加型ミーティングとして開催時期を6月に固定してきましたが、情報交流会を通じて出会った団体の連携も報告されるなか、多くの団体が総会や事業準備に重なり参加が難しい時期を避け、さらなる充実と顧客満足度の向上をめざして翌2月開催に変更しました。

また、13年間継続し、昨年終了された「里山フォーラム」と合流し、新しく共催団体を得たほか、パナソニック労働組合連合会 休暇村「ユニトピアささやま」のご協力を得て、実行委員会体制で各々の特徴を活かした新たな交流会を目指しました。

### >>> 参加者目標達成 満足度12%アップ 前年比128%収益増

その結果、数値目標である参加者100人を達成、前年比128%の収益増、さらに直後のアンケート結果では、2日間の交流会全体を通しての満足度を「9点～10点の評価人数」で比較すると75%と、昨年の63%から12%の上昇がみられました。

### >>> 40代の参加率に著しい伸び 7%から20%へ

世代別では、活動を継承し牽引する40代の参加増が著しく、各プログラムの満足度も総じて高く、参加者の変容が個々の取り組む活動の変化を導く可能性が見出されました。

# 活動成果と課題

## >>> 地域・世代・分野を超え SDGs への関心の高まり

「持続可能な社会・なりわい・暮らし」や、SDGs は、次年度も継続して考えを深めたいとの要望が世代を問わず複数寄せられ、ニーズに合致したテーマ設定であったことが確認できました。

これらの結果をふまえ、「これからの社会を創る」ために必要な活動へとどうつながったか、次年度は、アンケート結果を反映してよりスムーズな運営を行うための改善を加えるものの、今年度評価の高かった形式・プログラムを継続して実施し、テーマのさらなる深化によって最終的には、参加者の活動の変容による地域の活動の変容へと波及効果が導かれることが目標です。

## ●課題

### ① 時間経過後の「連携」「スキルアップ」など効果測定

連携がうまれたか、団体の組織基盤の強化や個人のスキルアップにつながったかどうかは、時間経過を要します。そこで、測定方法として

具体的には、

- ・参加者がささやまミーティングで出会った団体や個人と互いに連絡をとられたか。
- ・連絡をとられた団体や個人は、連携事業をはじめられたか。
- ・今回得た情報をもとに、アクションをおこされた団体・個人はおられるか。

測定方法については、ヒアリング、アンケートなどが候補。

### ② 多様な分野、異なるセクターの参加・巻き込み

過去3年間の成果で、分野や地域、世代を超えた交流は実現しつつある一方で、企業や行政の担当者など異なるセクターからの参加は足踏み状態にある。

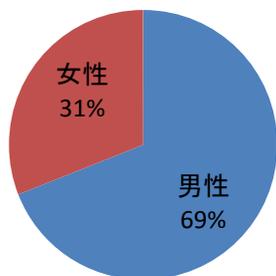
これからの地域課題解決を考える際、異なるセクターの参加や関与が、鍵となると考えられ、広報先や広報手段などの検討が課題です。

# 参加者基礎情報

## 1. 参加者数 100名

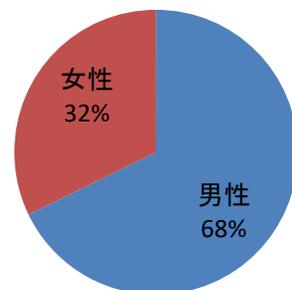
性別（2017年度）

男性	69
女性	31



性別（2016年度）

男性	61
女性	29

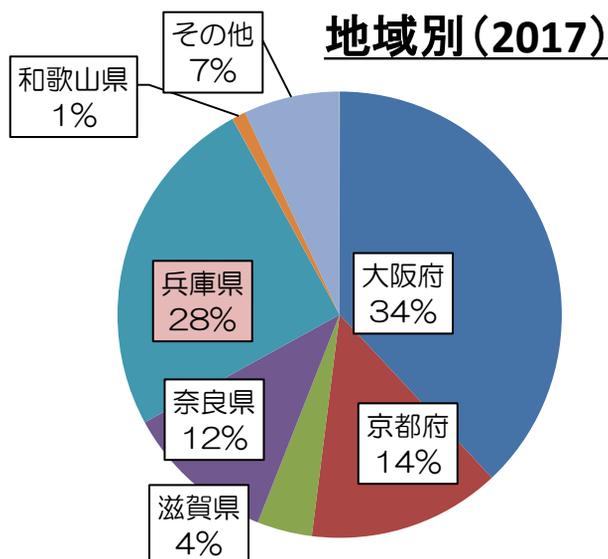


## 2. 地域別参加者数

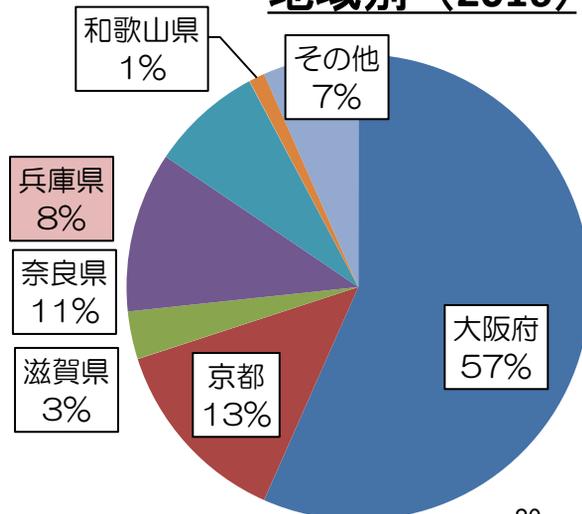
2017年度 参加者（地域別） n=100		
大阪府	34人	34%
京都府	14人	14%
滋賀県	4人	4%
奈良県	12人	12%
兵庫県	28人	28%
和歌山県	1人	1%
岩手県	1人	1%
東京都	1人	1%
愛知県	1人	1%
福井県	2人	2%
岡山県	2人	2%
合計	100人	100%

2016年度 参加者（地域別） n=90		
大阪府	51人	57%
京都府	12人	13%
滋賀県	3人	3%
奈良県	10人	11%
兵庫県	7人	8%
和歌山県	1人	1%
東京都	1人	1%
愛知県	2人	2%
岐阜県	1人	1%
三重県	2人	2%
合計	90人	100%

### 地域別（2017）



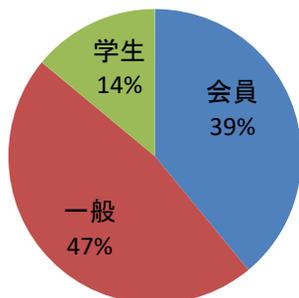
### 地域別（2016）



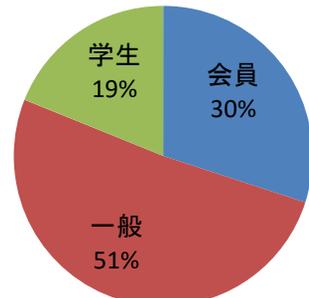
# 参加者基礎情報

## 3. 会員参加率（エコネット近畿会員のイベント参加率）

2017年度 n=100		
種別	人数	%
会員	39	39
一般	47	47
学生	14	14
合計	100	100



2016年度 n=90		
種別	人数	%
会員	27	30
一般	46	51
学生	17	19
合計	90	100



## 4. 新規参加者率（過去3年間に宿泊型情報交流会に参加されたことがない方÷参加人数）

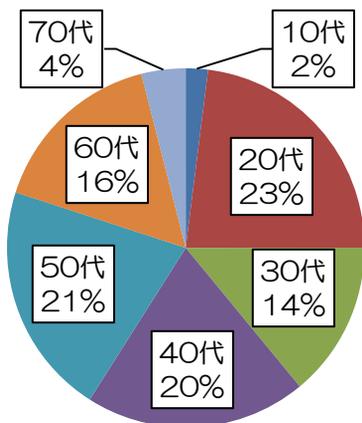
2017年度 n=100		
	人数	%
リピーター	25	25
新規	75	75
合計	100	100

2016年度 n=90		
	人数	%
リピーター	34	38
新規	56	62
合計	90	100

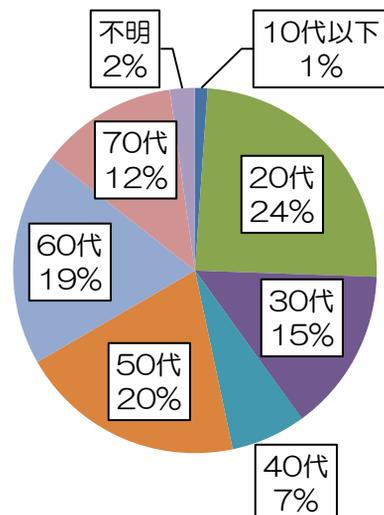
顧客の固定化が課題であったが、今回は8割を超える新規参加者があり、課題の1つをクリアできた。一方、セミナー情報を得た入手方法として「紹介」が大きく伸びて

## 5. 年代比率

2017年度 n=100	
年代	人数
10代	2
20代	23
30代	14
40代	20
50代	21
60代	16
70代	4
80代	0
合計	100

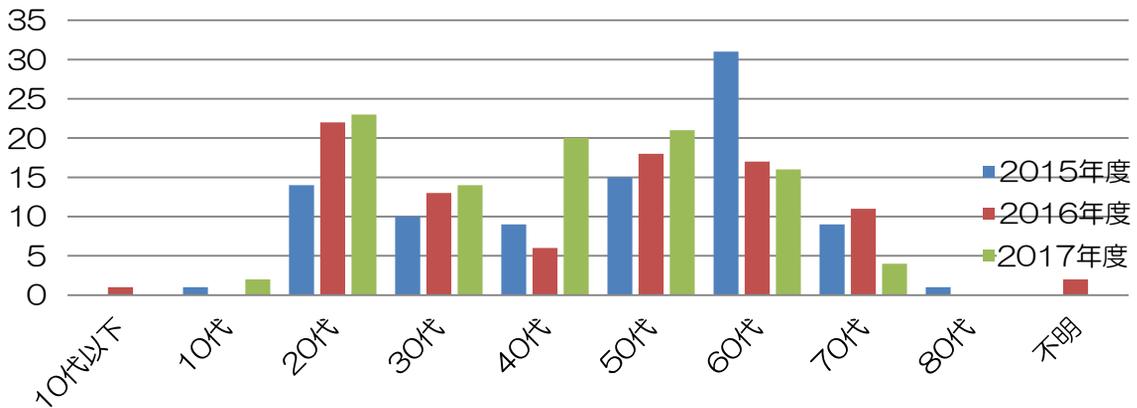


2016年度 n=90	
年代	人数
10代	1
20代	14
30代	10
40代	9
50代	15
60代	31
70代	9
80代	1
合計	90



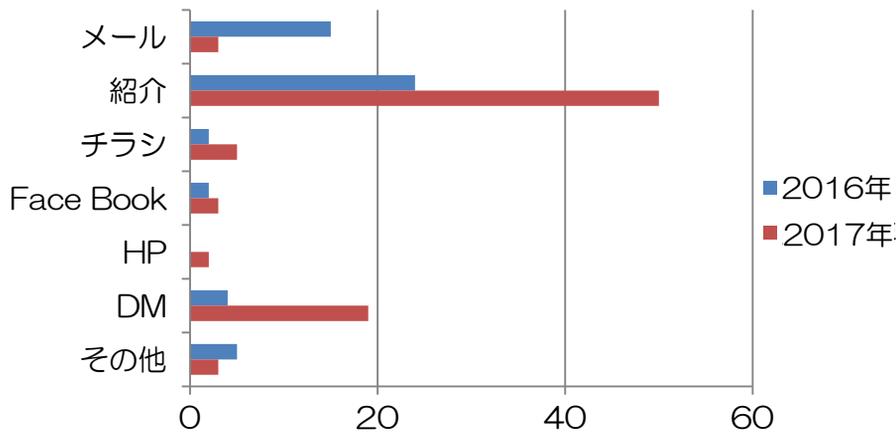
# 参加者基礎情報

## 5. 今年度を含め、過去3年間の年代比率の推移



## 6. セミナーの情報の入手方法

媒体	メール	紹介	チラシ	Face Book	HP	DM	その他	合計
2016年度	15	24	2	2	0	4	5	52
2017年度	3	50	5	3	2	19	3	85



## 7. セミナー参加の申込み方法 (重複あり)

申込手段	申込フォーム	Face Book	メール	電話	手渡し	来所	FAX	合計
2017年度	59	31	16	8	6	4	1	124

申込フォームのURLにリンクしたQRコードをチラシに印刷した結果、参加者の半数以上が「申込フォーム」を利用。申込者情報管理にも役立った。

# 持続可能な社会・なりわい・暮らしささやまミーティング アンケート

お名前 \_\_\_\_\_

ささやまミーティングにご参加いただき、誠にありがとうございます。皆さまの声を今後の運営に反映させていきたいと思っております。なお、いただいたご意見・ご感想は個人名をふせ、ホームページや報告書等に掲載させていただく場合がございます。

1. ささやまミーティングの各プログラムの満足度を10点満点で表すと何点ですか。

1日目

テーマ関連活動紹介 \_\_\_\_\_点  
全員参加パネルディスカッション \_\_\_\_\_点  
活動発表 \_\_\_\_\_点  
夜の交流会 \_\_\_\_\_点  
その他 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_点

2日目

早朝オプションプログラム \_\_\_\_\_点  
分科会 \_\_\_\_\_点  
ポスターセッション \_\_\_\_\_点  
全員参加ディスカッション \_\_\_\_\_点  
その他 ( \_\_\_\_\_ ) \_\_\_\_\_点

2. ささやまミーティングの全体の満足度を10点満点で表すと何点ですか。 \_\_\_\_\_点  
その理由：

3. ささやまミーティングの目的や運営に関して、あてはまるものに○をしてください。

- ・多様な団体・個人との交流ができた (大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)
- ・団体や個人とつながりができた (大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)
- ・団体・個人間の学び合いの場になった (大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)
- ・取り組む課題解決のヒントが得られた (大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)
- ・団体の組織運営力強化、個人のスキルアップができた (大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)
- ・申込時のスタッフ対応について (大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)
- ・当日のスタッフ対応について (大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)
- ・その他 ( \_\_\_\_\_ ) (大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)

4. 「ささやまミーティング」の今後の展開について、ご意見があればお聞かせください。

5. 今後のエコネット近畿に期待することにチェックをしてください。(複数可)

- イベント情報や団体情報の集約・発信(メルマガやホームページでの情報掲載など)
- 団体の個別相談対応(法人化・助成金情報・イベント開催などに関することなど)
- 団体同士や活動の仲介・現場交流(人・モノの交流のコーディネート)
- 組織基盤強化に関するセミナーの開催(助成金セミナーなど)
- 緩やかなネットワークの構築(具体的には：\_\_\_\_\_)

6. エコネット近畿からの環境活動に関する各種案内を希望されますか。  はい  いいえ

※希望される方は一番上のお名前の記入を忘れずをお願いいたします。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。

# アンケート集計結果

回収数 79枚

## 1. ささやまミーティングの各プログラムの満足度を10点満点で表すと何点ですか。

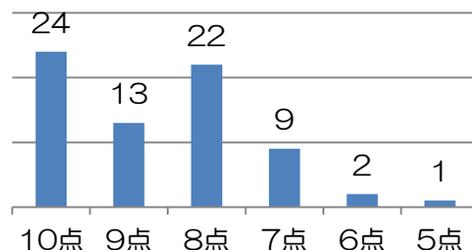
### 1日目

テーマ関連活動紹介	_____	点
全員参加パネルディスカッション	_____	点
活動発表	_____	点
夜の交流会	_____	点
その他 ( )	_____	点

\*NPS (Net Promoter Score ネット・プロモーター・スコア-推奨度-) の手法を用いて、独自に参加者のアンケート記入時の満足度を数値化しています。

本来は、0~6点を付けた人を「批判者」、7・8点を付けた人を「中立者」、9・10点を付けた人を「推奨者」と分類して、「推奨者」-「批判者」でNPSを求めますがここではそれぞれの割合を比較するにとどめています。

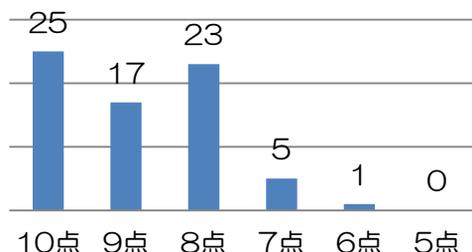
### テーマ関連発表 n=71 無記入=8



	10~9点	8~7点	6~5点
人数	36	31	3
%	51%	44%	4%

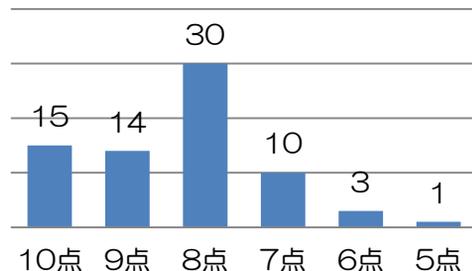
### 全員パネルディスカッション

n=71 無記入=8



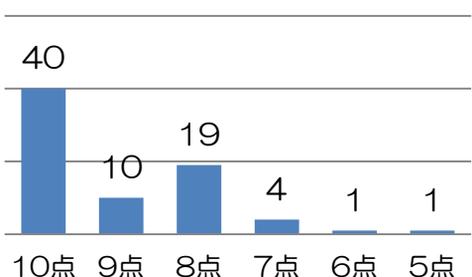
	10~9点	8~7点	6~5点
人数	42	29	1
%	59%	41%	1%

### 活動発表 n=73 無記入=6



	10~9点	8~7点	6~5点
人数	29	44	4
%	40%	60%	5%

### 交流会 n=75 無回答=4



	10~9点	8~7点	6~5点
人数	50	23	2
%	67%	31%	3%

### その他

年代をとわず、ユニトピアささやまの施設、食事に対する高い評価が多数ありました。

#### 「10点」・・・7名

- ・食事 4名
- ・出会い 1名
- ・コンサート 1名
- ・記入なし 1名

#### 「9点」・・・4名

- ・施設/スタッフ対応
- ・全体
- ・食事
- ・小野さんのお話

#### 「8点」・・・3名

- ・宿舎/食事
- ・記入なし 1名
- ・お風呂

# アンケート集計結果

回収数 79枚

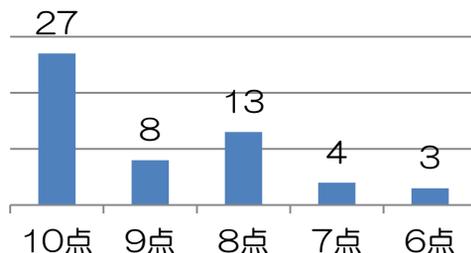
## 1. ささやまミーティングの各プログラムの満足度を10点満点で表すと何点ですか

### 2日目

早朝オプションプログラム \_\_\_\_\_ 点  
 分科会 \_\_\_\_\_ 点  
 ポスターセッション \_\_\_\_\_ 点  
 全員参加ディスカッション \_\_\_\_\_ 点  
 その他 ( ) \_\_\_\_\_ 点

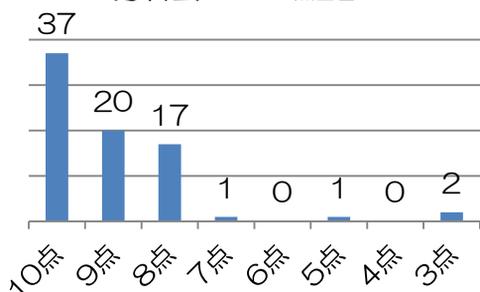
### 早朝プログラム

n=55 無回答=24



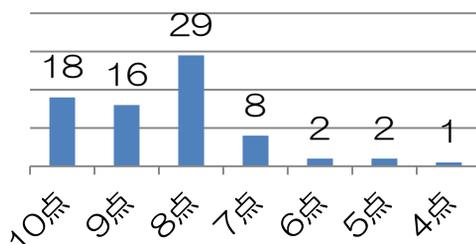
	10~9点	8~7点	6~5点
人数	35	17	3
%	64%	31%	5%

### 分科会 n=78 無回答 1



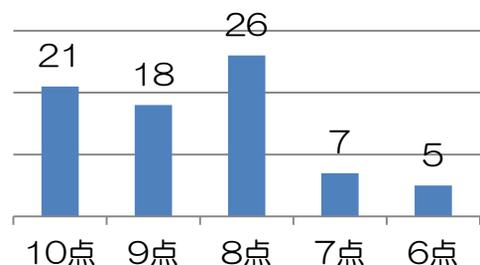
	10~9点	8~7点	6~3点
人数	57	18	3
%	73%	23%	4%

### ポスターセッション n=76 無回答 3



	10~9点	8~7点	6~3点
人数	34	37	5
%	45%	49%	7%

### 全員参加ディスカッション n=78 無回答 1



	10~9点	8~7点	6~3点
人数	39	33	5
%	50%	42%	6%

### その他

2日目も初日同様、ユニットピアささやまの施設、食事に対する高い評価がありました。

「10点」・・・4名

- ・食事 2名
- ・部屋 1名
- ・朝食時の対話 1名

「9点」・・・2名

- ・スタッフ
- ・全体

「8点」・・・2名

- ・ふりかえり 1名
- ・記入なし 1名

「3点」・・・1名

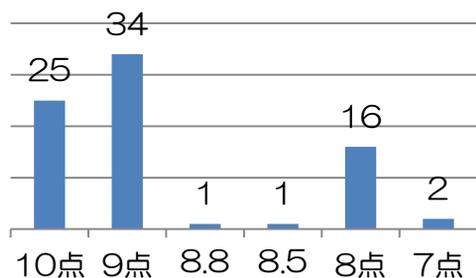
- ・眠気 1名

# アンケート集計結果

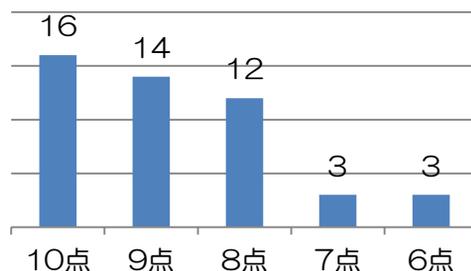
回収数 79枚

2. ささやまミーティングの全体の満足度を10点満点で表すと何点ですか。

2017年度 n=79 無回答0



2016年度 n=48 無回答 8



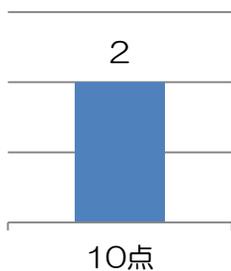
点数	10~9点	8~7点	6~5点
人数	59	20	0
%	75%	25%	0%

点数	10~9点	8~7点	6~5点
人数	30	15	3
%	63%	31%	6%

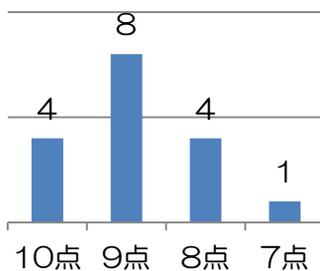
前回の情報交流会と、全体を通しての満足度 10~9点の評価人数で比較すると12%の上昇がみられた。内容（プログラム）に対する評価が中心となり、前年のマイナス要素として挙げられていた、食事、施設、Wifi環境などがすべて解消された。

## 2. (世代別) ささやまミーティングの全体の満足度

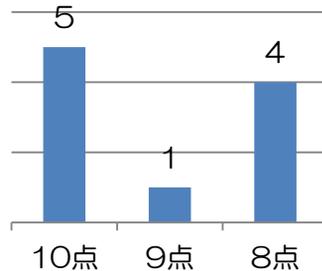
10代



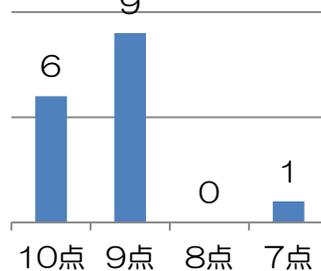
20代



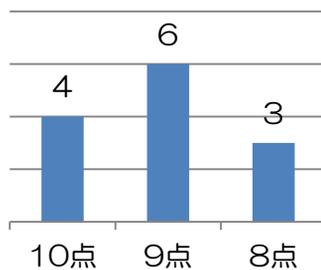
30代



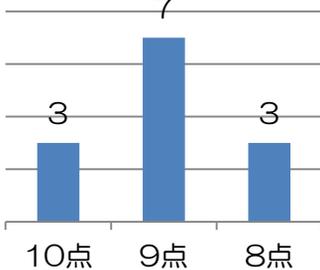
40代



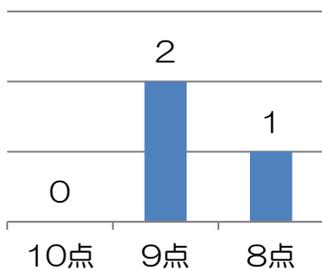
50代



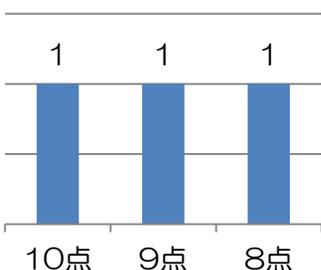
60代



70代



不明



# アンケート集計結果

回収数 79枚

2. ささやまミーティングの全体の満足度を10点満点で表すと何点ですか。理由をおしえてください。

## ●頻度の高かった単語

1位：プログラム（12）、人（12）、

2位：交流（11）、

3位：時間（10）、

その他：分科会（7）、活動（7）、場、会場（6）、団体（5）、想い（4）

## アンケートから

- ・各プログラムが巧妙に組み立てられており、書くこと、話すことを複数の人とする（せざるを得ない）イベントだったため、様々な現場の活動を知ることができた。（20代・学生）
- ・各プログラムを終えるごとに満足感を得ることがありました!! 眠さはありましたが、最後まで本当にあきらめることのないプログラムでした!!（20代・学生）
- ・年齢や経験のバリエーションが豊かで、多様性があり楽しかったです。（20代・学生）
- ・タイトルに持続可能な社会だけでなく、なりわい・暮らしを入れてくださったお陰か、自然環境支配の理想ではなく、ヒトの生きるための視点にたち帰っての意見交換会になった。（かたよらなかつた。）（20代・企業）
- ・たくさんのプログラムを効率よく進行されていることに感謝しています。（50代・NPO）
- ・-1点はスケジュールがタイトで、とてもハードでした。若い方にはちょうど良かったかもしれませんが、プログラムが多すぎたことがややマイナスです。（50代・任意団体）
- ・活動発表「9」としたのは、プログラム上、仕方ないけど10分は短いと感じました。分科会「9」は、他にも参加したい会がいっぱい！でも行けなかったから。全体「9」はもっと多くの方とお話ししたかったけど、しきれなかったからです。（50代・NPO）
- ・次につながる出会いが得られた。若い人たちの意欲と勤勉さに接して、将来へのつながりを実感できた。（50代・NPO）
- ・気になって、つねづね考えていることがテーマに展開していった。答えはなかなかみつからないけど、きっかけはつくられたような気がする。（30代・自治体職員）

20代の参加者は、プログラム上、世代・分野を超えて普段関われない様々な人と話げできたこと、それにより現場の活動の話が聞けたことを高く評価していました。（9~10点）2日間のプログラムでは、1つ前の設問において、特に2日目の分科会の満足度が高い傾向でしたが、それが全体の満足度評価にもつながる記述がみられました。

なお、「プログラムの詰め込みすぎはしんどい」「発表時間10分は短い」「休憩がもう少しあってもいいかな」などの意見は、年代に比例してより多くみられました。

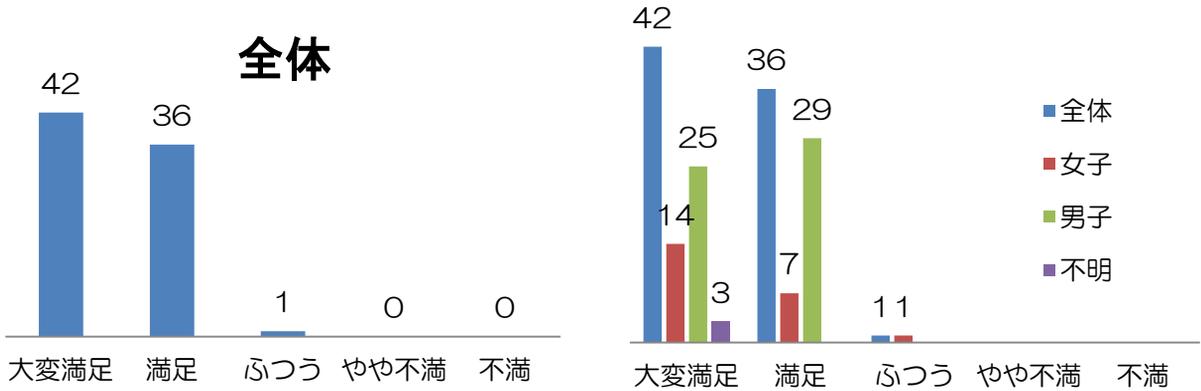
また、頻度の高い単語で「人（12）」に対し、「団体（5）」であり、実際に「普段交わりにくい世界の人たちとの交流はよかった」「エネルギッシュな方々との出会いに驚いた」など、「団体」より「個人」とのつながり・交流ができたと多くの方が記入されていました。

# アンケート集計結果

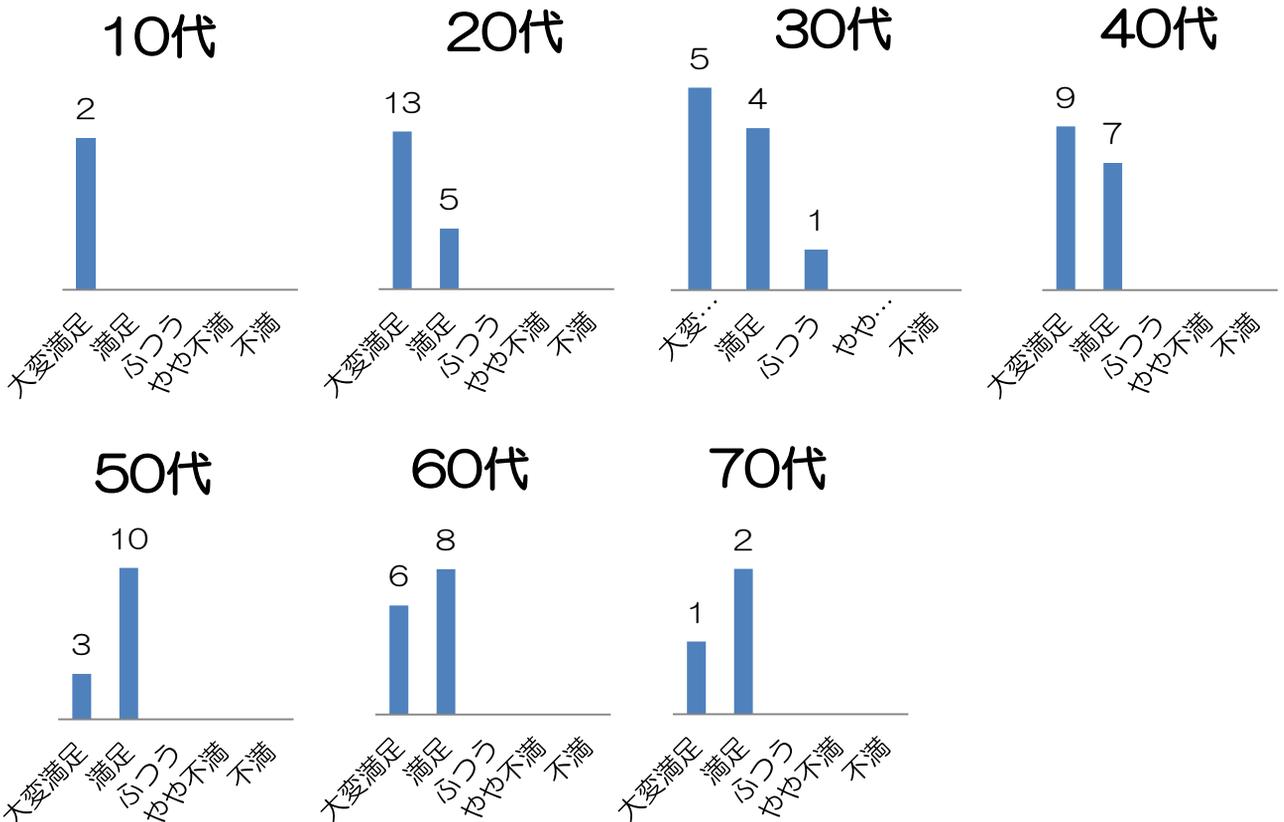
回収数 79枚

3. ささやまミーティングの目的や運営に関して、あてはまるものに○をしてください。

・多様な団体・個人との交流ができた（大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満）



		全体	女子	男子	不明
多様な団体・ 個人との交流 ができた	大変満足	42	14	25	3
	満足	36	7	29	
	ふつう	1	1		
	やや不満				
	不満				

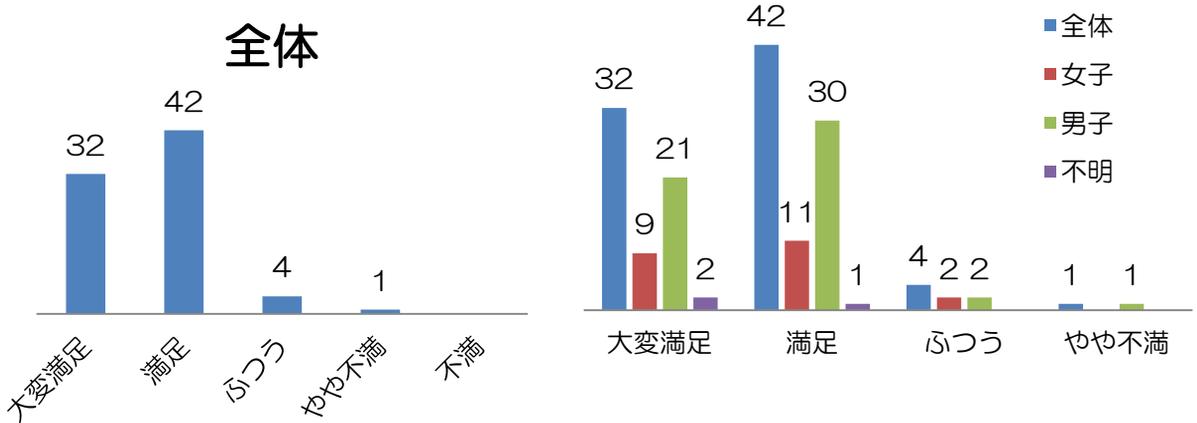


# アンケート集計結果

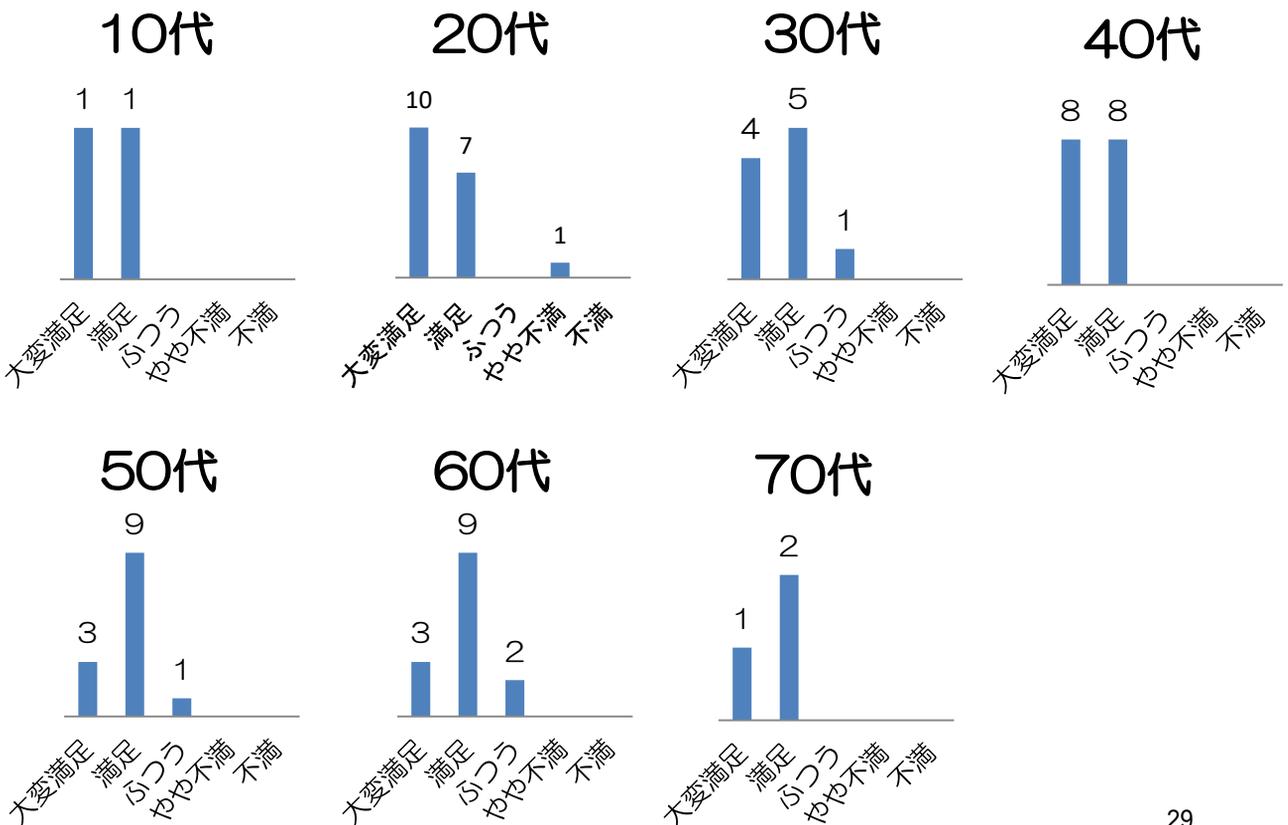
回収数 79枚

3. ささやまミーティングの目的や運営に関して、あてはまるものに○をしてください。

・ 団体や個人とつながりができた (大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)



	大変満足	満足	ふつう	やや不満	不満
団体や個人と のつながりが できた	32	42	4	1	0



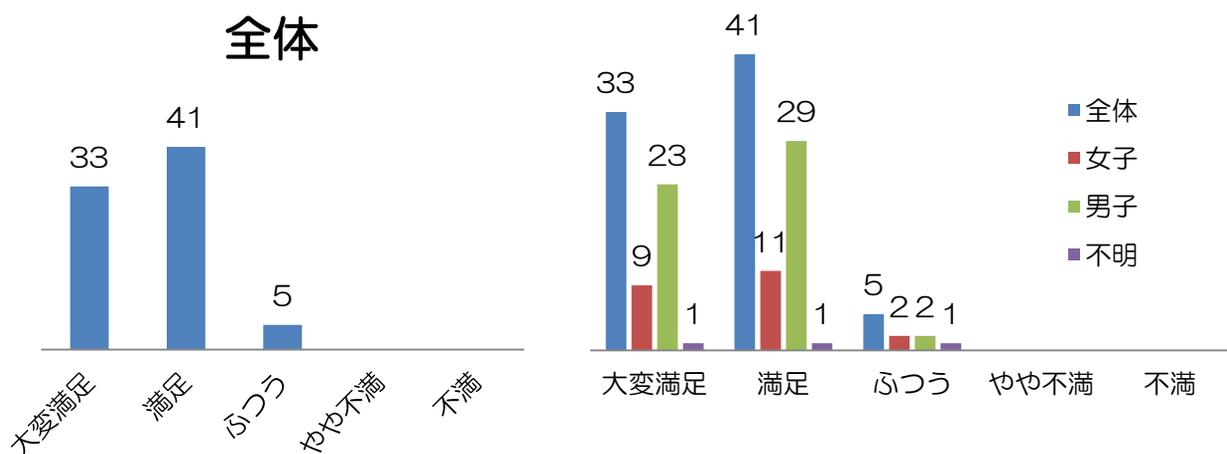
# アンケート集計結果

回収数 79枚

3. ささやまミーティングの目的や運営に関して、あてはまるものに○をしてください。

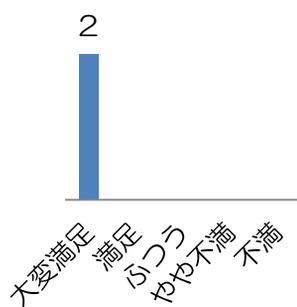
・ 団体・個人間の学び合いの場になった（大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満）

## 全体

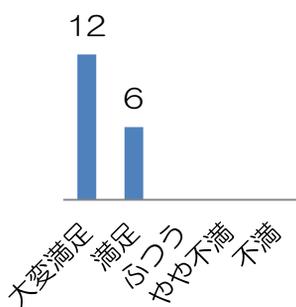


	全体	女子	男子	不明
団体・個人間の学び合いの場になった				
大変満足	33	9	23	1
満足	41	11	29	1
ふつう	5	2	2	1
やや不満				
不満				

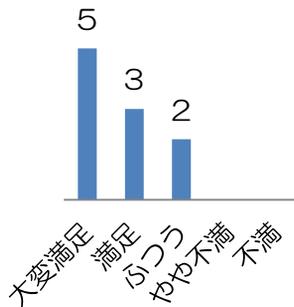
## 10代



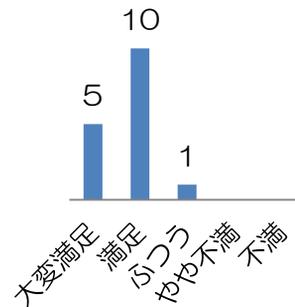
## 20代



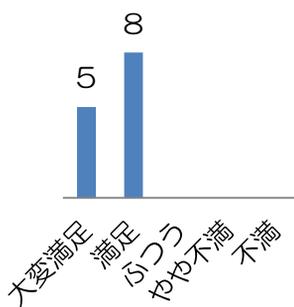
## 30代



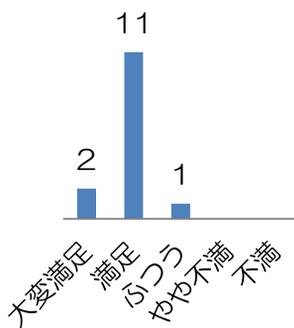
## 40代



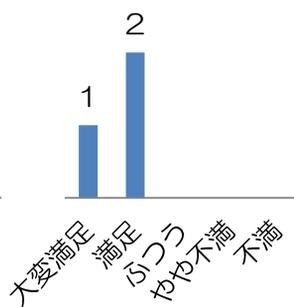
## 50代



## 60代



## 70代



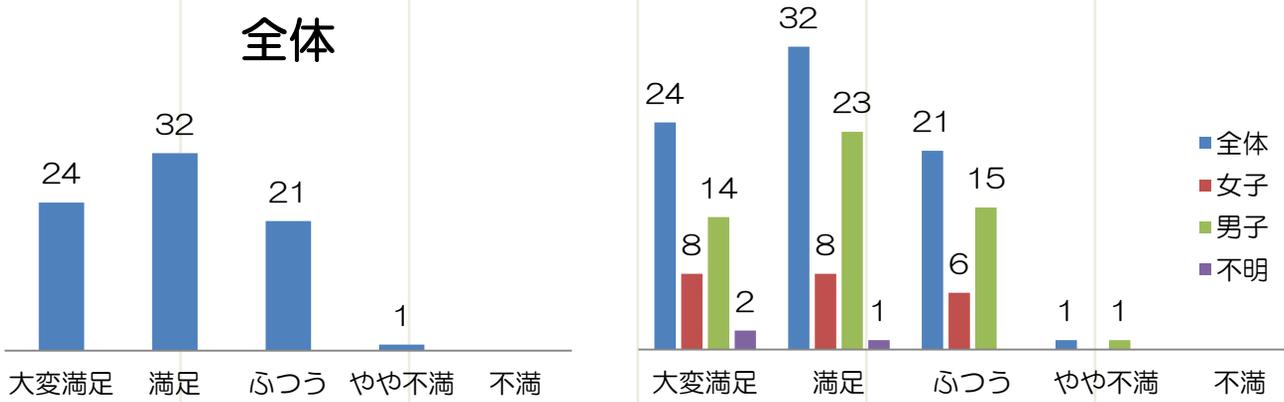
# アンケート集計結果

回収数 79枚

3. ささやまミーティングの目的や運営に関して、あてはまるものに○をしてください。

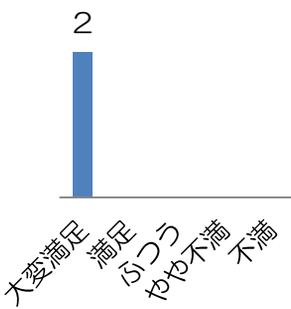
・ 取り組む課題解決のヒントが得られた (大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)

## 全体

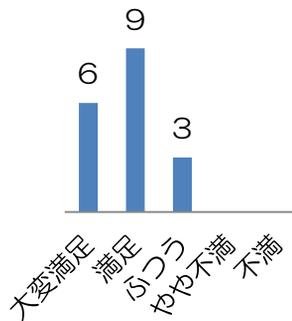


		全体	女子	男子	不明
取り組む課題 解決のヒント が得られた。	大変満足	24	8	14	2
	満足	32	8	23	1
	ふつう	21	6	15	0
	やや不満	1	0	1	0
	不満	0	0	0	0

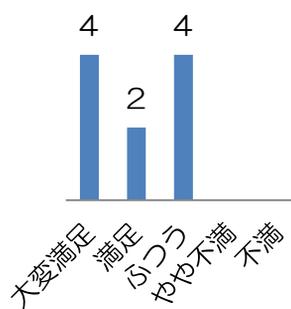
## 10代



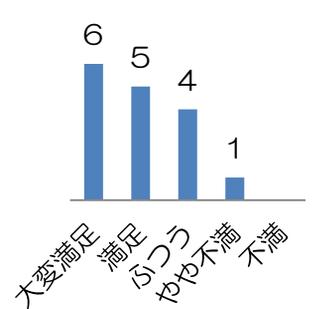
## 20代



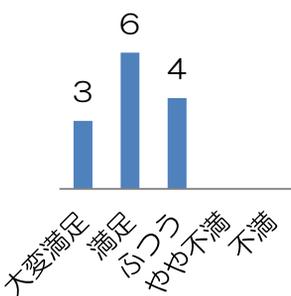
## 30代



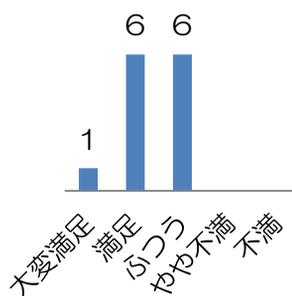
## 40代



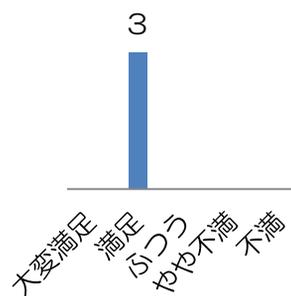
## 50代



## 60代



## 70代



# アンケート集計結果

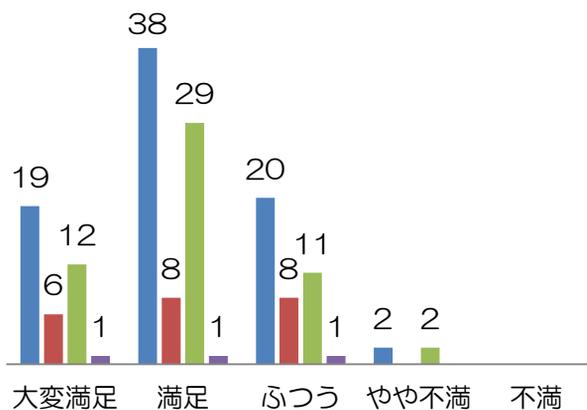
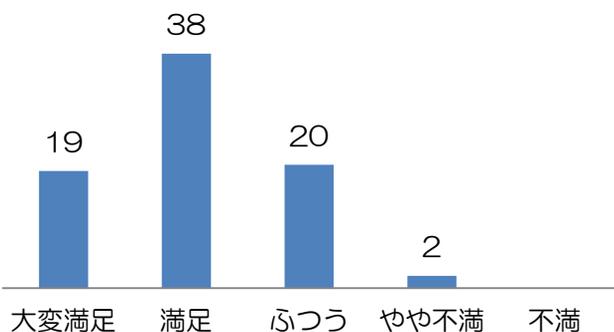
回収数 79枚

3. ささやまミーティングの目的や運営に関して、あてはまるものに○をしてください。

・ 団体の組織運営力強化、個人のスキルアップができた

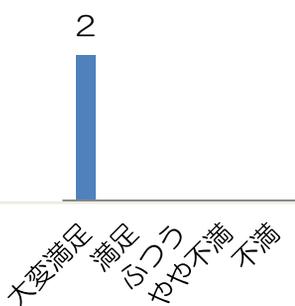
(大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)

## 全体

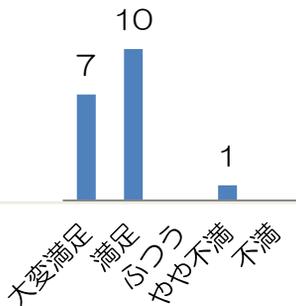


	全体	女子	男子	不明
大変満足	19	6	12	1
満足	38	8	29	1
ふつう	20	8	11	1
やや不満	2	0	2	0
不満	0	0	0	0

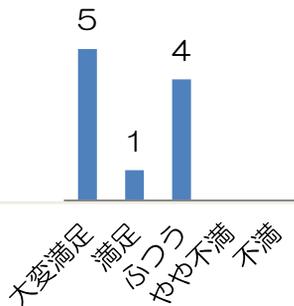
## 10代



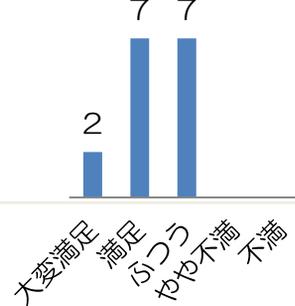
## 20代



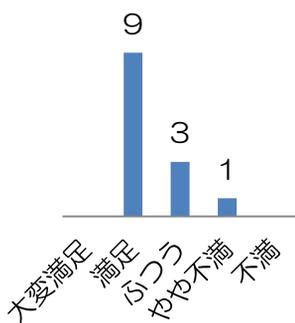
## 30代



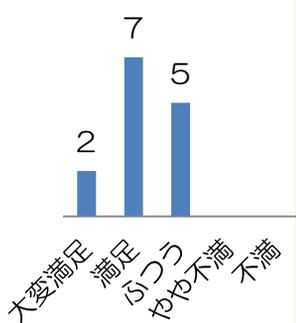
## 40代



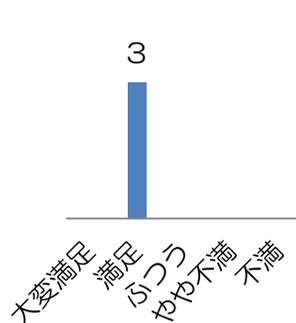
## 50代



## 60代



## 70代



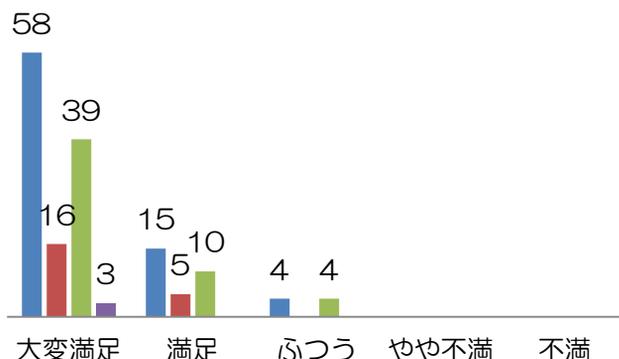
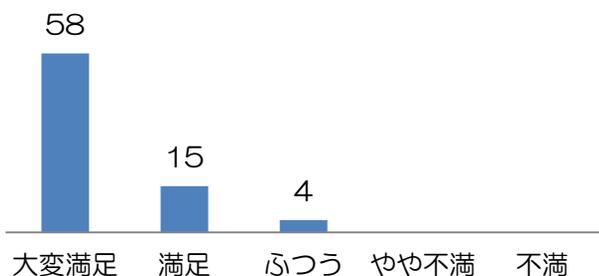
# アンケート集計結果

回収数 79枚

3. ささやまミーティングの目的や運営に関して、あてはまるものに○をしてください。

・ 申込時のスタッフ対応について (大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)

## 全体

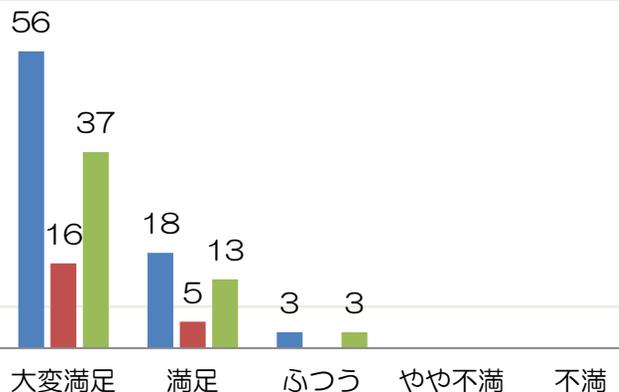
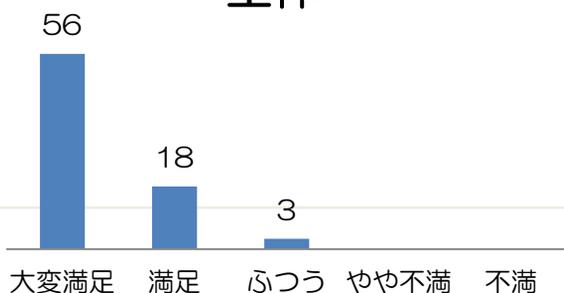


		全体	女子	男子	不明
申込時のスタッフ対応について	大変満足	58	16	39	3
	満足	15	5	10	
	ふつう	4		4	
	やや不満				
	不満				

・ 当日のスタッフ対応について

(大変満足・満足・ふつう・やや不満・不満)

## 全体



		全体	女子	男子	不明
当日のスタッフ対応について	大変満足	56	16	37	3
	満足	18	5	13	
	ふつう	3		3	
	やや不満				
	不満				

・ その他 \_\_\_\_\_

(大変満足) 分科会、スタッフの高いバイタリティ、山口さんの歌、施設  
 (満足) 100名越えの宿泊イベント全体、ユニットピア、

# アンケート集計結果

4. 「ささやまミーティング」の今後の展開について、ご意見があればお聞かせください。

自由記述いただいたご意見を 内容により7つの項目にわけ整理しました。

## プログラムのご提案

### ●地域課題解決ワークショップ

- 今は交流が主なので、” 頭で考える→アウトプットする→共有する” がメインかと思いますが、さらに一歩進めて、実行するまでの本気度を足してもおもしろいかなと思いました。例えば、会場の篠山のリアルナカダイを共通で提示。グループを組んで、本気でその解決の知恵を考え、コンペする（そして、実行するまでいけるとベストだが、非現実的…？）少なくとも篠山の課題を感じてる団体さんに” 伝える” レベルではできるかも…。（20代・企業）
- 近いエリア同士の人たちがテーマについて一緒に考えるワークショップ。（40代・NPO）
- もっとガチガチの討論をしても良いと感じた。課題解決のための討論など。（20代・学生）
- 今回のような規模と内容でもう一度やってみても良いと思う。各活動団体の活動の進展状況や、逆に悩み等も共有しては？（50代・任意団体）

### ●講演／学習会

- 講演を1つ入れても。環境とか時事問題。（資源とか環境についての）（60代・NPO）
- 政治的な枠組み・競艇などの学習。（例：パリ協定と歴史的意味とそれぞれの実践とまとめ。）（30代・自治体職員）

### ●今回の分科会からの継続、発展

- SDGSにテーマを絞った交流会があっても面白いかなと思いました。（20代・学生）
- 第5分科会「組織ばなれ時代の多様なヒトの参加とつながりの生み出し方」の続きをする・・・か、参加した人のその後の展開を聞く。（40代・NPO）
- 体験型（木育）が良かったので、今後も何かあると良いです。（60代・任意団体）

## 期待する参加者。こんな人に参加してほしい…。

### ●「多業種、多分野、門外漢」「行政、企業」「若い人、学生」

- 多分野の人との関わりは、あらぬつながりを生んだり新しい視点の意見を知る機会になってよかった。（10代・学生）
- 多業種交流（60代・NPO）
- さらに多様なグループ、人々から参加できるようにしてください。（70代・NPO）
- 門外漢？関係性のないと思えるところの人の意見。（20代・学生）
- さらになる多方面の諸団体、とくに行政の方などの参加を願いたいです。（60代・任意団体）
- 今回比較的参加が少なかった行政、企業の人たちにももっと多く参加してもらえるように、周知方法を考えていただけたらと思います。（私自身来年は上記の人たちに呼びかけたいと思います。）（20代・企業）
- 若い子が多い会として成長してほしい。学生料金か学生に特化した広報をしても面白いのでは？多様性が強みのフォーラムだともっと楽しくなると思います。（20代・学生）

（次ページへつづく）

# アンケート集計結果

4. 「ささやまミーティング」の今後の展開について、ご意見があればお聞かせください。

## ゲストの要望、こんなゲストがいたら学びがあるかも…。

### ●全く異なる業種で面白い活躍をしている人、話題の人

- ・全く異なる業種で、面白い活躍をされている方などをゲストに招いていただくと色々な刺激、学びがあるのではないのでしょうか？（40代・任意団体）
- ・フィールドでの共感共有の場面があっても良いかな～。民俗学とか経済学（資本投資）とか少し違うゲストを招いても楽しく新たなアプローチが見つかるかも！！（50代・NPO）
- ・時には、今話題になっている人や、物事など取り上げる、又話題の人や違った分野の人の講演なども織り交ぜるのもいい。（70代・NPO）

## 時間配分

### ●余裕、ゆとりが欲しい・・・

- ・もう少しプレイタイムを入れていただくと頭がフローせず、ヒントを確実にできるのかも？（50代・企業）
- ・開催時間を少し早めにして、企画イベント間の余裕が欲しい。ぎっしり詰めすぎて少し疲れます。テーブルミーティング（レイクホール）のフリートーキングの時間をもう少し長くしてほしい。（倍くらいの時間があれば親睦が深まる。）（60代・企業）

## 場所に関して

### ●来年も篠山で・・・

- ・来年も篠山で実施していただくと嬉しいです。立地、ホスピタリティー、食事などとてもよかったです。（30代・個人）

## 環境への配慮についてのご提案

### ●紙の使用

- ・紙の使用量が多いと感じました。模造紙<パワポの方が文字も大きく良いと思います。（20代・学生）

### ●食品ロスへの取り組み

- ・2日目の昼食はたべきれない人もみられたので、おかわりができる定食タイプが良いです。（50代・NPO）

## ささやまミーティング テーマについて

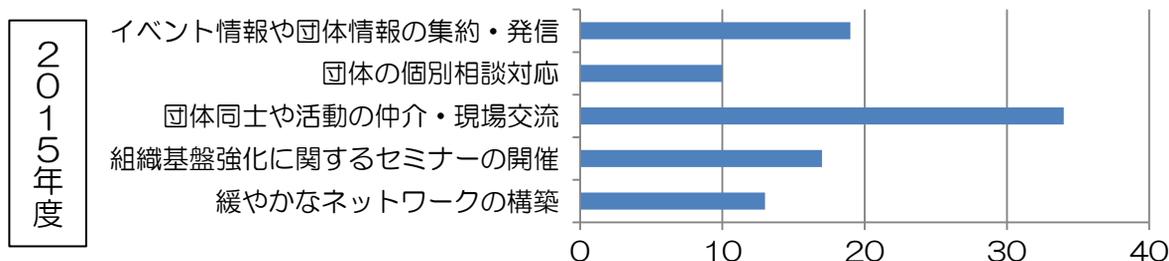
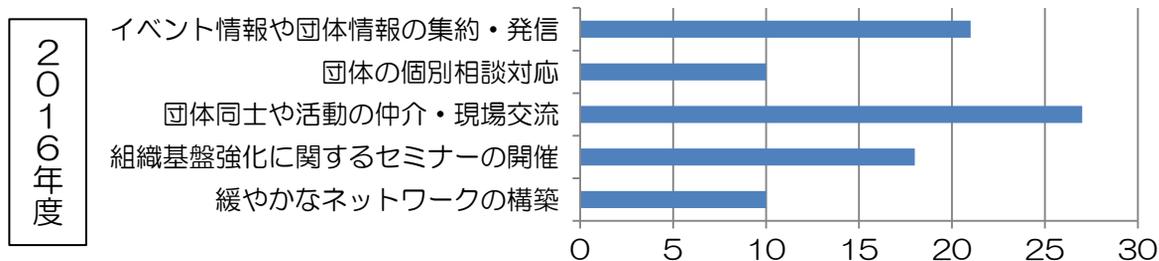
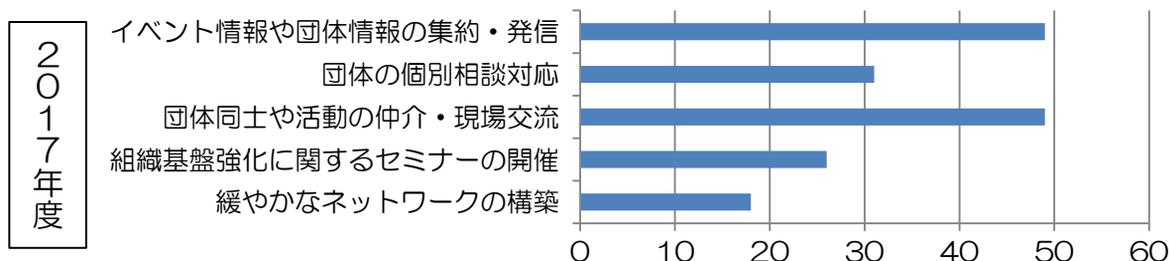
### ●持続可能

- ・人とテーマの多様性は増えたが、focusが少し甘くなった。→持続可能な社会に対するイメージが多様すぎて、議論が深まらないと感じました。（40代・研究機関）
- ・「持続可能な社会」を問いつづける。（大切ですね）（50代・NPO）

# アンケート集計結果

今後のエコネット近畿に期待することをおしえてください。（複数選択可）

	2017	2016	2015
イベント情報や団体情報の集約・発信	49	21	19
団体の個別相談対応	31	10	10
団体同士や活動の仲介・現場交流	49	27	34
組織基盤強化に関するセミナーの開催	26	18	17
緩やかなネットワークの構築	18	10	13



情報交流会終了後のアンケートでは、「イベント情報や団体情報の発信」「団体同士や活動の仲介・現場交流」の2つに期待が集中する傾向があり、今年度も同様だが、例年と比較してイベント情報や団体情報の集約・発信への期待が特に伸びている。

# 持続可能な社会・なりわい・暮らし ささやまミーティング 参加者名簿

2018年2月23日(金)～24日(土)

↓(プロフィール・申込記載住所:自宅もしくは団体等住所)

	都道府県	団体名	発表者・参加者	フリガナ	性別
1	岩手県盛岡市	岩手大学連合農学研究科	比屋根 哲	ヒヤネ アキラ	男
2	東京都江戸川区	NPO法人えどがわエコセンター	大塚 留美	オウツカ ルミ	女
3	愛知県名古屋	地域の未来・志援センター	三ツ松 由有子	ミツマツ ユウコ	女
4	福井県今立郡	福井県池田町役場	相原 健児	アイハラ ケンジ	男
5	福井県福井市	公益社団法人 ふくい農林水産支援センター	荻田 英爾	オギタ ヒロシ	男
6	滋賀県彦根市	かもしかの会関西	西村 知記	ニシムラ トモキ	男
7	滋賀県大津市	ウオーターステーション琵琶の会	長瀬 國男	ナガセ クニオ	男
8	滋賀県大津市	NPO法人 瀬田川リパブレ隊	美濃部 進	ミノベ ススム	男
9	滋賀県大津市	E-EGG	山中 のり子	ヤマナカ ノリコ	女
10	奈良県奈良市	箕面森林ふれあい推進センター	池田 克司	イケダ カツシ	男
11	奈良県生駒郡	ラックスフォレスト	馬淵 梓	マブチ アズサ	女
12	奈良県北葛城郡	なないろサーカス団	中川 直美	ナカガワ ナオミ	女
13	奈良県橿原市	岡橋学校	山本 成一郎	ヤマモト セイイチロウ	男
14	奈良県桜井市	NPO法人 山野草の里づくりの会	村上 秀夫	ムラカミ ヒデオ	男
15	奈良県吉野郡	谷林業株式会社	前田 駿介	マエダ シュンスケ	男
16	奈良県吉野郡	株式会社 ワイルドウィンド / 山守	山下 淳司	ヤマシタ ジュンジ	男
17	奈良県吉野郡	天川村役場 健康福祉課	山端 聡	ヤマハタ サトシ	男
18	京都府綾部市	小さなアースデイ実行委員会	大力 浩二	ダイチ コウジ	男
19	京都府綾部市	小さなアースデイ実行委員会	大力 聡美	ダイチ サトミ	女
20	京都府亀岡市	京都森林インストラクター会	辻井 健一郎	ツジイ ケンイチロウ	男
21	京都府京都市	龍谷大学里山学術センター	谷垣 岳人	タニガキ タクト	男
22	京都府京都市	龍谷大学政策学研究科	片桐 悠	カタギリ ユウ	男
23	京都府京都市	龍谷大学政策学部	朱 宏楊	シュ コウヨウ	男
24	京都府京都市	龍谷大学政策学部	西田 駿吾	ニシダ シュンゴ	男
25	京都府京都市	龍谷大学政策学部	原 雄貴	ハラ ユキ	男
26	京都府京都市	NPO法人使い捨て時代を考える会	吉永 美智子	ヨシナガ ミチコ	女
27	京都府乙訓郡	乙訓の自然を守る会	稲垣 文拓	イナガキ フミヒロ	男
28	京都府久世郡	未来の子	大西 康史	オオニシ ヤスシ	男
29	京都府八幡市	龍谷大学政策学研究科	金森 祐樹	カネモリ ユウキ	男
30	京都府船井郡	京都府林業大学校	佐々木 康行	ササキ ヤスユキ	男
31	大阪府三島郡	大日本印刷 ABセンター事業開発第2ユニット	吉田 秀樹	ヨシダ ヒデキ	男
32	大阪府高槻市	E-EGG	宮本 由貴	ミヤモト ユキ	女
33	大阪府枚方市	公益社団法人 大阪自然環境保全協会	野田 奏栄	ノダ カナエ	女
34	大阪府枚方市	大阪府立大学	福山 幸拓	フクヤマ ユキヒロ	男
35	大阪府吹田市	NPO法人 木育フォーラム	米地 德行	ヨネジ ノリユキ	男
36	大阪府吹田市	公益社団法人 大阪自然環境保全協会	金谷 薫	カナヤ カオル	男
37	大阪府豊能郡	豊中市青少年自然公園わっぱる	中澤 良介	ナカザワ リョウスケ	男
38	大阪府豊能郡	きららの森のいえ	稲原 有	イナハラ ユウ	女
39	大阪府豊能郡	公益社団法人 大阪自然環境保全協会	湯浅 淳子	ユアサ アツコ	女
40	大阪府箕面市	認定NPO法人 箕面こどもの森学園	藤田 美保	フジタ ミホ	女
41	大阪府池田市	E-EGG	別府 邦子	ベツフ クニコ	女
42	大阪府池田市	公益社団法人 大阪自然環境保全協会	後藤 裕己	ゴトウ ヒロミ	男
43	大阪府大阪市	大阪市教職員	大岩 功	オオイワ オサオ	男
44	大阪府大阪市	NPO法人 環境情報ステーションpico	大林 テル	オオバヤシ テル	女
45	大阪府大阪市	龍谷大学政策学部	金 紅実	キン コウジツ	女
46	大阪府大阪市	ケイゾクエナジー	近藤 大介	コトウ ダイスケ	男
47	大阪府大阪市	神戸大学経済学部	竹田 みのり	タケダ ミノリ	女
48	大阪府大阪市	公益社団法人 大阪自然環境保全協会	水元 勇	ミズモト イサム	男
49	大阪府大阪市	ECOまちネットワーク・よどがわ	山本 容子	ヤマモト ユウコ	女
50	大阪府柏原市	大阪教育大学	永富 一之	ナガトミ カズユキ	男
51	大阪府東大阪市	ハッピーアースデイ大阪 / はちのじ	川西 仙太郎	カウニ センタロウ	男
52	大阪府東大阪市	近畿大学総合社会学部	田中 晃代	タナカ アキヨ	女
53	大阪府堺市	NPO法人 エコネット近畿	米道 綱夫	ヨネミチ ツナオ	男
54	大阪府堺市	大阪府立大学 生命環境・緑地環境	遠藤 研太郎	エドウ ケンタロウ	男
55	大阪府堺市	株式会社生態計画研究所 堺事業所 堺自然ふれあいの森	櫻井 あゆみ	サクライ アユミ	女
56	大阪府堺市	近畿大学	松村 悠豊	マツムラ ユウフ	男
57	大阪府堺市	バナソニックエコリレージャパン	河上 弘幸	カワガミ ヒロユキ	男

# 持続可能な社会・なりわい・暮らし ささやまミーティング 参加者名簿

2018年2月23日(金)～24日(土)

都道府県	団体名	発表者・参加者	フリガナ	性別	
58	大阪府河内長野市	阪急阪神ホールディングス株式会社	水口 琴音	ミス'グチ コネ	女
59	和歌山県田辺市	一般社団法人熊野百間溪谷自然学校	横山 勝次	ヨコヤマ カツジ	男
60	兵庫県豊岡市	NPO法人 暮らしのエコをすすめる但馬の会	陰 善夫	カゲ ヨシオ	男
61	兵庫県朝来市	みやがわ森選組	戎谷 秀雄	エイタニ ヒデオ	男
62	兵庫県丹波市	兵庫丹波オオムラサキの会	角谷 慶治	カクニ ケイジ	男
63	兵庫県篠山市	NPO法人 バイオマス丹波篠山	谷掛 八千久	タニガケ ヤチヒサ	男
64	兵庫県篠山市	NPO法人 バイオマス丹波篠山	前川 公夫	マエガワ キミオ	男
65	兵庫県篠山市	NPO法人 バイオマス丹波篠山	藤井 聡博	フジイ サヒロ	男
66	兵庫県篠山市	株式会社 ZEROZIBA	米田 麻人	ヨネダ アサト	男
67	兵庫県篠山市	株式会社 ZEROZIBA	渡辺 壮一郎	ワタベ ヲウイチロウ	男
68	兵庫県篠山市	パナソニックエコリレージャパン	辻 政司	ツジ マサシ	男
69	兵庫県篠山市	元里山フォーラム実行委員	江川 亜希	エガワ アキ	女
70	兵庫県三田市	関西学院千刈キャンブ	益田 博	マスダ ヒロシ	男
71	兵庫県川西市	協和工業 株式会社	川田 英明	カワタ ヒデアキ	男
72	兵庫県川西市	国崎クリーンセンター啓発施設	森脇 由佳	モリキ ユカ	女
73	兵庫県伊丹市	近畿大学総合社会学部 環境・まちづくり専攻	江藤 大貴	エガタ ダイキ	男
74	兵庫県西宮市	近畿大学総合社会学部環境・まちづくり専攻	森 樹久	モリ ミツヒサ	男
75	兵庫県西宮市	阪急電鉄株式会社	山本 英実	ヤマモト エミ	女
76	兵庫県西宮市	学生団体 はちのじ / 近畿大学	足立 哲	アダチ テツ	男
77	兵庫県西宮市	三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社	宮川 絵里香	ミヤカワ エリカ	女
78	兵庫県神戸市	NPO法人 Peace & Nature	Bahram Enanloo	バハラム イナンル	男
79	兵庫県神戸市	自然体験活動支援「シニア種まき隊」	橋本 敏明	ハシモト シアキ	男
80	兵庫県神戸市	椎葉商店	本田 実	ホンダ ミチ	男
81	兵庫県神崎郡	NPO法人 棚田LOVER's	永菅 裕一	ナガサガ ユウイチ	男
82	兵庫県姫路市	里山サバイバルクラブ	鈴木 幸子	スズキ サチコ	女
83	兵庫県たつの市	里山サバイバルクラブ	田口 裕	タノチ ユウ	男
84	岡山県真庭市	真庭市役所 地域おこし協力隊	大森 繁	オオモリ シゲル	男
85	岡山県真庭市	真庭市役所 交流定住推進課/地域おこし協力隊	篠原 洋	シハラ ヒロシ	男

## <主催者・実行委員>

1	東京都千代田区	一般財団法人セブン-イレブン記念財団	松井 敬司	マツイ ケイジ	男
2	東京都千代田区	一般財団法人セブン-イレブン記念財団	小野 弘人	オノ ヒロト	男
3	奈良県奈良市	エコネット近畿	平田 通文	ヒラタ ツグミ	男
4	奈良県天理市	ひとまち元気カンパニー	なかつたに みさこ	ナカフタニ ミサコ	女
5	奈良県北葛城郡	谷林業株式会社	谷 茂則	タニ シゲノリ	男
6	奈良県大和高田市	NPO法人 里山倶楽部	西川 阿樹	ニシカワ アキ	女
7	京都府長岡京市	公益社団法人大阪自然環境保全協会	田中 広樹	タナカ ヒロキ	男
8	大阪府吹田市	パナソニックエコリレージャパン	宮本 直樹	ミヤモト ナオキ	男
9	大阪府門真市	パナソニックエコリレージャパン	山口 進	ヤマグチ ススム	男
10	大阪府大阪市	公益財団法人あおぞら財団	栗本 知子	クリモト トモコ	女
11	大阪府大阪市	NPO法人エコネット近畿	辻 郁子	ツジ イコ	女
12	大阪府東大阪市	近畿大学総合社会学部	久 隆浩	ヒサ カズヒロ	男
13	大阪府八尾市	WorldSeed	岡見 厚志	オガミ アツシ	男
14	大阪府富田林市	里山キッズクラブ	伊藤 かれん	イトウ カレン	女
15	大阪府富田林市	NPO法人 里山倶楽部	新田 章伸	ニッタ アキフ	男
16	兵庫県西宮市	ジュゴン保護キャンペーンセンター	正阿彌 崇子	ジョウアミ タカコ	女
17	兵庫県神戸市	NPO法人 市民事務局かわにし	西村 牧子	ニシムラ マキコ	女
18	兵庫県加東市	やしろの森公園	余部 衛	アマベ マモル	男
19	兵庫県姫路市	キタイ設計株式会社	平櫛 武	ヒラクシ タケシ	男
		参加者	男		72
			女		32
			合計		104

## NPO法人エコネット近畿

(正式名称:特定非営利活動法人近畿環境市民活動相互支援センター)

住所:〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-14サンプラザ南森町401

TEL:06-6881-1133

FAX:06-6949-8288

E-mail:jimukyoku@econetkinki.org

URL:<http://econetkinki.org>